



国際ロータリー会長 ロンD・バートン  
第2730地区ガバナー 大迫三郎  
鹿児島市内分区分ガバナー補佐 有村茂樹・飯野和男

## 第2730地区 鹿児島サザンウインドロータリークラブ

事務局・例会場 鹿児島東急イン  
〒890-0053 鹿児島市中央町5-1-9F  
TEL 090-5295-2736  
FAX 099-251-5290  
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp

2013~2014年度  
会 長 庄司 教克  
会長エレクト 国師 博久  
幹 事 松藤いずみ  
編 集 会報・広報委員会  
HP <http://www.ri2730.org/southern/>

第760回例会 2013年(平成25年)7月4日(木) 本日のプログラム「会長・幹事 就任挨拶」

Vol. 18-1

前回第759回例会(6/27(木))の報告 於: 東急イン

### 【ニコニコBOX】

#### ◆野元博志君

・1年間会員の皆様の支えで、つつがなく会長職を務めることができました。心からの感謝を込めてニコニコします。

・幹事ゲストの穂満さん、木場さん、ようこそお越し下さいました。一緒にロータリーを楽しみましょう。

#### ◆赤塚晴彦君

1年は将に光陰矢の如し。又、謂く「少年老い易く学成り難し……階前の梧葉已に秋声」。最後のベルが鳴る。有難うございました。

#### ◆松田泉君

会長・幹事、1年間お疲れ様でした。無事の着港何よりです。又、ガバナー補佐として1年間クラブに大変協力して頂きました。有難うございました。

#### ◆庄司教克君

うらやましい、、、野元会長・赤塚幹事、お役目ご苦労様でした。少しだけゆっくりして下さい。

#### ◆前田正幸君・夏迫文男君・国師博久君

野元会長・赤塚幹事、1年間本当にご苦労様でした。色々お世話になりました。

#### ◆川原篤雄君

野元会長・赤塚幹事、1年間お疲れ様でした。有難うございました。

#### ◆池田耕夫君

・野元会長・赤塚幹事、役員の皆様1年間心に残る年度でした。御苦労様でした。

・田中国際奉仕委員長、川原さん、高良さん、世界大会参加、お疲れ様でした。

#### ◆永田優治君

野元会長・赤塚幹事、1年間ご苦労様でした。

#### ◆佐藤俊一君

野元会長・赤塚幹事、1年間ご苦労様でした。

#### ◆高良次男君

世界大会より無事帰還。見送り、出迎えいただいた方に感謝。野元さん、赤塚さん、御苦労様でした。

#### ◆小山田吉治君

長い様で終わってみれば短い1年間でした。野元会長・赤塚幹事他今年度ご協力頂いた皆さん、ゴールです。次年度庄司エレクトも来週から始まります。今年度最後の例会を楽しみましょう。

#### ◆森迫直子君

1年間、あっという間に終わりました。野元会長・赤塚幹事、本当にお疲れ様でした。つたないSAAでしたが、皆様温かく見守って頂き、有難うございました。

#### ◆森妙子君

野元会長・赤塚幹事、1年御苦労様でした。1年間とっても楽しかったですネ。

#### ◆西孝一君

野元会長・赤塚幹事、1年間素晴らしい会運営でした。有難うございました。

#### ◆藤崎克己君

野元会長・赤塚幹事、1年間ご苦労様でした。庄司エレクト・松藤副幹事の活躍を祈ります。

#### ◆三浦雄二君

野元会長・赤塚幹事の1年間の労をねぎらいニコニコします。昨日私は誕生日にて47才になりました。

#### ◆小川ちえみ君

野元会長はじめ2012~2013年度の役員の皆様、1年間ご苦労様でした。1年間のご慰労の意を込めて、そして次年度役員の方々へエールを送るべくニコニコします。

《ニコニコBOX累計額 ¥334,600-》

【幹事ゲスト】 旭交通(株)鹿児島支社長 穂満淳様  
(有) 鹿建設 代表取締役 木場正人様

【米山記念奨学会寄付】 6/27 吉時真也君

2013~2014年度 国際ロータリーのテーマ 「ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を」

クラブテーマ 「ロータリーを学び、奉仕の心を高めよう！」

## 【プログラム】「会長・幹事 任期を終えて」

会長 野元博志

いよいよ最後の例会となりました。

まずは、野元・赤塚年度に対する会員の皆様のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。この一年間、私の中で一番嬉しかった事、それは会員の皆さんに大いに盛り上げて貰ったことです。皆さんのお陰で心に残る大変素晴らしい一年となりました。本当に有難うございました。1年を振り返って、という事ですので、会長として一年の取組みについて報告を致します。



私は今年度のクラブテーマを「ロータリーを意識し、奉仕を楽しもう」としましたが、会長になってまさにこのテーマ通りの一年間を過ごせたと感謝しています。365日ロータリーを意識しない日はありませんでした。日常の行動の中でもいつもロータリアンであるという事を意識して過ごすことが出来ました。私にとっては会長をするという事自体が大きな奉仕ではないかと思いました。クラブやロータリーの為に汗を流し、社会に役立つための奉仕活動を行う事で素晴らしい経験がありましたし、会員の皆さんの思いや協力で感動し感謝する事も度々でした。会長職や事業を通して、新しい人との出会いも嬉しく、大変楽しい一年となりました。

今年度RI会長田中作次氏のテーマは「奉仕を通じて平和を」、山下皓三ガバナーのテーマは「夢・誇り・挑戦～素晴らしいロータリーへの再生」でした。私はこれを受けて、我がクラブ20周年に向けての挑戦として3つの目標を設定しました。①クラブの基盤強化と活性化、②奉仕活動の実践、③公共イメージの向上です。そしてそれぞれに具体的な計画を掲げて取り組んできました。

①「クラブの基盤強化と活性化」の具体的な計画1番目は、会員55名体制を目指す、でした。残念ながら今期の会員数はマイナスとなりましたが、今日幹事ゲスト2名と入会申請1名がありますので、次年度は7月に3名の入会予定です。増員への弾みがつくことを願っています。クラブの健全化のために長期計画として次年度も55名体制を目指してください。

例会出席率の向上と委員会活動の活性化で親睦を図る、では、皆さん大変忙しい中例会への出席・メイクアップに協力いただき目標を達成できたものと思います。本田宗一郎氏の言葉に「時代は変わっても、人と人がじかに会う、手を握る行為は変わらないだろう」とありました。正に例会でのフェロウシップの根本ではないでしょうか。委員会活動では各委員会、事業計画の検討や実践について積極的に取り組んで頂き、私が出席した委員会だけでも22回、その他会合で45回もありました。委員会活動を通して会員相互の親睦が大いに図られたと思います。

CLPの検討を通じて戦略的クラブ運営について検討する、についてはCLP委員会・理事会・クラブフォーラムでの検討を通し、皆さんの理解をいただき次年度よりの導入が決まりました。CLP導入による活性化を期待したいと思います。

現場に立つ会員が多いクラブとして誰でも会長ができる仕組みを作る、は直前会長からの申し送りでもありましたが、CLPの導入と3世代の会長(直前・現・エレクト)の協力体制を作ることで、会長の負担を軽減すると共にエレクトとして共に学ぶことができるようにしました。

ガバナー補佐と5名の地区委員の輩出を機に地区との連携を深め学習をする、については、松田ガバナー補佐・赤塚地区R財団部門長・川原出席推進委員長にはそれぞれ市内分区・地区を牽引していただきました。各委員の方にもそれぞれ経験を深めて頂き、クラブとしても大いに勉強になりました。またSWRCが地区や分区で一目置かれる存在にもなりました。

### ②「奉仕活動の実践」についての具体的な計画

ロータリーの行動規範の再認識と実践に取り組むについては、例会での標語の斉唱程度に終わり特別に学習の機会は取れませんでした。各会員の中で意識して取り組んでもらえたのではないかと思います。

社会奉仕事業として「障害者スポーツ(車椅子バスケット)の支援」を実施する、については社会奉仕委員会を中心にクラブ全員で取り組んで頂き成功裏に終了できたと思いますし、継続事業として取り組んで頂けることになり大変嬉しく感謝しています。

鹿児島市内分区事業「新世代のためのロータリー会議」を担当する、では、新世代委員会を中心に計画していただき、これもクラブ全員で取り組んで頂き成功させて頂きました。報告書も明日には出来上がることになっています。

ロータリー財団の夢計画・米山記念奨学会への理解と協力を推進する、については、社会奉仕事業で地区補助金を申請し使用しました。また、夢計画について学習をし次年度も新地区補助金を使用し事業を実施することとなりました。米山記念奨学会への寄付についても皆さんの協力で目標を達成できました。

日常生活や職業・社会生活の上で奉仕を楽しむについては、各人の取り組みですが、例会の挨拶でお願いすると共に、テーマ斉唱出で奉仕を意識してもらいました。

### ③「公共イメージの向上」では、

常にロータリーを意識する(ロータリーの徽章・ロータリーカードの使用促進)については、例会の挨拶で取り上げ例会だけでなく仕事や日常の中でも徽章をつけることをお願いをし、ロータリーを意識するために取り組んでもらいました。

奉仕事業の発信を通して広報を行うについては、障がい者スポーツ支援事業では新聞上で募集告知をして頂いたり、当日の様子をガバナー月信・ロータリーの友などに掲載してもらい一定の広報は出来ましたが、当日の取材がレノヴァのみになり残念でした。次年度は単独での事業の予定ですので大いに広報が出来るものと期待しています。

新世代のためのロータリー会議では当日の様子を新聞に掲載され、またガバナー月信でも取り上げてもらい素晴らしい広報が出来たと思います。

以上、会長としての目標は、会員の皆さんのお陰で概

ね達成できたものと思います。また、各委員会ではそれぞれの方針・計画に基づいて真摯に取り組んで頂き、それぞれに素晴らしい成果を上げていただきました。個別については年間活動報告で報告していただきましたので割愛しますが、各委員長さん委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

今年度は松田ガバナー補佐・赤塚地区R財団部門長には多くのご指導をいただきました。また赤塚先生には名幹事として心から支えて頂きました。私にとってはそこにいて下さるだけで安心でき頼れる存在でした。今日は最後にロータリーの神髄について語ってもらえたらと思います。お二人には改めてお礼を申し上げます。振り返ってみると、この一年で一番報われたのは会長である私だったのではないかと思います。もちろん、大変な事もありましたが、今となっては全てが素晴らしい思い出であり財産となっています。

このような素晴らしい体験をさせて頂いた皆さんに感謝し、最後の挨拶と致します。

#### 「クラブ幹事を終えるに当たり」 幹事 赤塚晴彦

2012～13年度開始に当たり、坂本竜馬の船中八策よろしく、幹事のクラブ運営8策を目標として掲げました。私にとって、ロータリー4大奉仕の出発点をなす、クラブ奉仕の最終仕上げが野元博志会長のもとで幹事を務めあげることでした。「長い、くどい、忘れる、怒る」は老化の始まりと十分心得て、超我の精神をもって皆様のお世話をさせていただきました。然し、結果として野元会長に支えられて幹事職を終えることになったように思います。野元会長に心から御礼申し上げます。

当クラブ創設時、『ロータリーに「No」という言葉は無い』、『Enjoy Rotary』という、特別代表を務められた、佐々木典綱氏（PG、鹿児島南RC）の2つの言葉がしっかり耳に残っております。異種異業種の集まりであるロータリーが100年以上の歴史を保持してきている生命維持装置は、会員相互の信頼関係にあると言っても過言ではないでしょう。信頼関係は会員相互の親睦から始まります。親睦は例会、例会はクラブ奉仕、クラブ奉仕は職業奉仕へとつながっていきます。私の幹事としてのクラブ運営8策の骨格は、以上の考え方に拠っております。クラブは国際ロータリーから認証されて存立します。然し、認証されたクラブは「独立」しております。クラブの運営はクラブ定款及び定款細則によってのみ規制されます。従って、定款及び細則見直しは特に注意を要します。私達自身のクラブとして、明るく楽しく元氣よく有意義なロータリーライフを過ごすために。

サザンウインドRCの例会は、他のクラブ例会とどこが違うのか。会長・会長エレクト・幹事・SAA・理事会一体となって、この一年間、ずっと問い続けてき

た課題でした。例会は親睦の根本の場であり、時間で有ります。60分間とは言え、往復の時間を加えれば、およそ2時間は、鹿児島東急インの中におります。人生の2時間と言う貴重な時間を割くわけですから、魅力豊かな例会でなければなりません。孤独な経営者にとっては知的交流の場であり、一息安堵するオアシスでもなければなりません。

斯様にして例会は定型に拘る必要はないのです。地域の生業（なりわい）を異にする職業人の集まりですから、時々の状況変化に対応した例会運営への取り組みが大切になります。気配り、心配りが例会運営の基本です。会順、食事、音楽、卓話者、各種パフォーマンス、会場配置、照明、受付、お迎え、例会外の親睦活動・・・など格段の配慮を以て、真の親睦の場を創出しなければなりません。ロータリーでのこのような活動体験は必ずや、自分の所属する職場でも大いに役立つことでしょう。例会出席こそロータリアンの真骨頂と言えます。

親睦と卓話について。かつて本田宗一郎氏は「業界団体の中から真の友人が見つかる確率は2～3%」、また「読書は嫌いだ、500頁の本を読んでも為になるのは1頁しかない、人の話を聞くことが大好きだ」と語った。ここで考えるに、ロータリー例会での出逢いは抜群に確率が高く、例会ほど効率の良い耳学問は無い、と言えましょう。

SWRCにおいて私に残された、たった一つの仕事は幹事だけでした。野元会長はじめ皆様方の寛容寛大な御協力に感謝申し上げ、所感と御礼と致します。



(写真上)

野元会長・赤塚幹事、  
一年間お疲れ様でした。  
次年度庄司会長・松藤幹  
事より花束の贈呈

(写真左)

松田泉会員、鹿児島市内  
分区ガバナー補佐として、  
1年間お疲れ様でした。

理事・役員・委員会構成 (2013～2014年度)

(役 員)	(理 事)
会長 庄司 敦克	会員組織 佐藤 俊一
会長エレクト(兼副会長) 国師 博久	研修・広報 小山田吉治
幹事 松藤 いずみ	奉仕プロジェクト 前田 正幸
会計(兼副幹事) 夏迫 文男	ロータリー財団 松田 泉
SAA 森山 隆治	プログラム 柳橋 國博
直前会長 野元 博志	職業奉仕 森迫 直子
	社会奉仕 田中 応征

委員会組織

部 門	担当委員会	委 員 長	副委員長	委 員
A クラブ運営リーダー (国師 博久)	①プログラム	柳 橋 國 博	藤 崎 克 己	
	②出 席	小 川 ち え み	梅 木 安 子	福 石 堅 郎 百 崎 隆 子
	③親 睦	平 田 雅 士	吉 時 真 也	森 政 広
B 会員組織リーダー (佐藤 俊一)	①会員増強	高 良 次 男	西 孝 一	松 下 和 裕
	②会員選考・分類	右 田 省 二	赤 塚 晴 彦	
C 研修・広報リーダー (小山田吉治)	①会員研修	野 元 博 志	川 原 篤 雄	池 田 耕 夫
	②会報・広報	濱 田 一 郎	三 浦 雄 二	赤 尾 か お り
D 奉仕プロジェクト リーダー (前田 正幸)	①職業奉仕	森 迫 直 子	高 岡 茂	永 田 優 治
	②社会奉仕	田 中 応 征	中 村 聡	(夏迫 文男)
	③青少年奉仕	本 田 貴 志	平 田 宗 興	
	④国際奉仕	井 岡 松 司	本 木 順 也	日 高 恒 彦
E ロータリー財団リーダー (松田 泉)	①ロータリー財団	小 林 千 鶴	森 妙 子	
	②米山記念奨学会	松 田 圭 治 郎	押 井 啓 一	

第2730地区 地区委員

ロータリー財団 委員長	赤塚 晴彦
出席推進委員会 委員長	川原 篤雄
ロータリー雑誌委員会 委員	池田 耕夫
学友・奨学金・世界平和・フレンドシップ小委員会 副委員長	前田 正幸
国際奉仕委員会 副委員長	井岡 松司

監査(有資格者)		押井啓一
テーブルマスター (会員研修)		野元博志
宮崎東RC対応 (幹事、クラブ運営)		松藤いずみ・国師博久
ケケンRC(対)対応 (国際奉仕委員会)		井岡松司
サウンズ・イン・アクション (親睦)		平田雅士
副S. A. A		小川ちえみ・平田雅士
記録 (会報・広報)		濱田一郎
CLP長期ビジョン委員会		庄司敦克(委員長)・国師博久(副委員長) 松藤いずみ・夏迫文男・森山隆治・野元博志

市内他RC例会プログラム

★は記帳受付有り (ホームクラブ 例会場)

鹿児島RC 7/5(金) 会長卓話 会長 内村文泰 (山形屋)
中央RC ★7/8(月) 直前会長・幹事慰労会 夜間 (山形屋)
東南RC 7/9(火) 未定 (サロヤル)
城西RC 7/9(火) ゲスト卓話 地区出席推進委員長 川原篤雄様 (鹿児島SWRC) (東急イン)
南RC 7/10(水) 会員卓話 (サロヤル)
西RC 7/10(水) クラブ協議会 (活動方針) (山形屋)
西南RC 7/10(水) クラブ協議会 (活動報告) (ゆうづき)
東RC 7/11(木) 各委員長 上期計画と抱負 (山形屋)
北RC 7/11(木) クラブ協議会 (活動計画) (レゾラントホテル)

次回(第761回)例会のお知らせ

日 時: H25年7月11日(木) 12:30~13:30  
場 所: 東急イン2F  
プ ロ グ ラ ム: クラブ協議会(年間活動方針発表)

出席報告

例会日	会員数	出席数	出席率%
第759回6月27日(木)	45	32	71.11
第757回6月13日(木)訂正	45	35	77.78